

2050年の京都市に向けて 皆様のご意見を聞かせてください



「京都基本構想（仮称）」は、京都市とわたしたち京都市民の今後四半世紀の在り方を展望するものであるとともに、京都市基本構想の系譜を未来へと継承するものです。

2万件を超える市民等からいただいた御意見や若者世代が中心となった未来共創チーム会議の議論等をもとに、総合計画審議会において策定を進めてきました。この度、「京都基本構想（仮称）」について、市民の皆様からのご意見を募集します。

意見提出方法

二次元コードからご提出ください。



京都基本構想 パブコメ

※電子メール、FAX、郵送、持参でも
御提出いただけます。



お問合せ/提出先

京都市 総合企画局 都市経営戦略室
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
TEL：075-222-3030 FAX：075-213-1066
電子メール:toshikeiei@city.kyoto.lg.jp



「京都基本構想（仮称）」のあらすじ

京都を形づくってきたもの（第二章 京都のかたち）

- ・ まちに近接して存在する自然（三山、鴨川・桂川・琵琶湖疏水をはじめとする豊かな水の恵みなど）
- ・ 平安京の成立以来、政治、宗教、経済活動などさまざまな要素を織り成し、紡いできた長い歴史と、
その中で醸成されてきた文化
- ・ 自分の領分を弁えながら協働できる節度と、美意識や価値の継承に尽力してきた矜持^{きやうじ}にもとづく人間関係
- ・ 学術と文化・藝術^{げいじゆつ}に秀でた人々に加え、職人^{しせい}、市井の愛好家などの様々な日常の営みの蓄積^{かくけい}（＝学藝の府）

京都を取り巻く課題（第三章 世界・日本・京都市のいまと未来への課題）

- ・ コミュニティや伝統産業、藝能^{げいのう}などの担い手の減少と高齢化、全国的な少子化
→ 後継者の不足、伝承の危機、大学のまちとしての在り方の変容
- ・ 特定の観光地への訪問客の集中、マナーの差に由来するトラブルなど
→ 市民の日常生活やなりわいへの影響
- ・ チマキザサなど在来種が消失の危機に瀕する状況、自然との関わりの希薄化
→ 生活文化や神事の存続の危機

NEXT

これから、どのようなまちをめざしていくか

（第四章 わたしたち京都市民がめざすまち）

- ・ 本物（ほんまもん）を追究・創造し続ける
- ・ 世界の文化と交流し、新たな文化を創造し続ける
- ・ 「夢中」と「感動」に溢れ^{あふ}、学び続けられる
- ・ 平穏^{へいおん}と静寂^{せいじゃく}のもとで自己と世界と深く向き合える
- ・ 謙虚に自然と関わり続ける
- ・ 災害や感染症などの危機からしなやかに立ち直る
- ・ 多層的でゆるやかなつながりが続く
- ・ 支え合いの中で日々の生活を営める
- ・ ひとりひとりの個性や価値観を尊重し合える



ここがポイント



基本構想の主語は、「わたしたち京都市民」とし、市内に居住する京都市民の皆様はもちろん、京都市と関わりを有するすべての方々も広く「市民」として捉え、ともに京都市の現在と未来をつくっていきたくと考えています。

めざすまちの実現に向けて、この基本構想を“拠り所”として、今後の京都市の在り方、わたしたち京都市民の在り方を問い続けていただきたいという想いを込めています。